

www.foro.jp

↑ホームページも見てくださいね!

フリースクール フォロ

# foro

# News Letter

日ごろよりフォロにご支援・ご協力いただ  
いていますみなさん、いつも温かく見守っ  
ていただき、ありがとうございます。

フォロ設立より早9カ月、おかげさまで、会  
員の子どもたちも20人を超え、人がつなが  
ることって、こんなに楽しいことかとドキ  
ドキする毎日です。また、はじめての新年  
度を迎えて、子どもたちが学校外の場に  
居場所をもってやっていくことの難しさ  
も感じるこのごろでもあります。6月29  
日には、NPO法人認証後、はじめての  
NPO会員総会を開きます。

フォロ・ニューズレター第2号をお届け  
します。最近の活動や子どもたちのよう  
すなどを、少しでもお伝えできればと思  
います。

2002年6月29日

特定非営利活動法人 フォロ

代表理事 花井紀子



陶芸をしたときの様子

## ●一個人として関われる

上辻 和史(14歳)

「木を見て森を見ず」ということわざがあっ  
て、細かいところでこだわって全体が見  
えていないという意味なんです。これは  
今の学校に当てはまると思います。学校  
に行くこと自体が定着していて、本来  
の考えを見失っている。だから、授業  
なんかでも中身はそっこのだけで、い  
かに覚えさせるかってことに力を入  
れていて、結果的に名前しか覚えてな  
いことが多い。それに、学校内の上下  
関係もよくわかりません。「学校に行  
くのが子どもの仕事」とか「義務」と  
いうなら、生徒がお金もらうべきな  
んじゃないか。べつに、「金くれ」って  
わけじゃないし、そもそも「子どもの  
仕事」でも「子どもの義務」でもない。  
そういう問題ではないけど、ほとんど  
強制で学校につれてきて、(教師は)自  
分は税金もらってるのに、

## 子どもからの声

子どもに対して「してやってる」よ  
うな態度とられたら、納得できな  
いですね。

考えてみると、学校って、けっ  
こう矛盾が出てくる。

でもフォロは、一個人として見て  
くれる。上下関係もないし、個人  
としてははっきり言ってくれるし、  
権力的なものがない。フォロでや  
っていることは、どれも強制参加  
じゃないんですが、『時事講座』  
や『古典の時間』なんかは、出  
てみると話が広がって行って、わ  
かってみると楽しい。『俳句・短  
歌づくり大会』ってのもあって、  
けっこう盛りあがりました。

いろいろな人の話を聞いたり、  
いろんなところに行く機会が増  
えるので、楽しいです。

## こんな活動をしています

### 講座が増えています

スタート当初は「〇〇に出かけたい」といった希望が多かったのですが、春を迎えるあたりから、講座や、じっくり考えあう時間を持ちたいという希望が増えています。

#### ●シリーズ「仕事いろいろ」

「いろんな職業の人に会いたい」との希望からはじまり、これまでに、看護婦さん、写真カメラマン、テレビ番組のディレクターの方々に来ていただきました。「カメラマンってどんなことするのかなあ」と言っていた女の子は、講座に出てみて「やっぱりいい仕事だなと思った」との感想を寄せていました。近々には、フリーランスの編集者、獣医さんにも来ていただく予定です。子どもたちの大きな関心は、「好きなことやっていて生きていけるの?」ということですが、さまざまな方に、しんどいこと、楽しいこと、直接に聞くことで、一緒に人生を拓いていけるといいなと思います。

#### ●時事講座

「政治って何だろう?」という疑問からはじまった「時事講座」。毎週火曜日に定例化し、すでに10回近くを数えます。「パレスチナとイスラエル」「アメリカとテロ」「日本とは何か」「戸籍」などをいっしょに考えました。「裁判」の仕組みを学んでから、裁判所見学に行ったりもしました。

#### ●古典の時間

フォロに寄贈していただいた古典全集の中からタイトルのおもしろそうなものを、少しずつ読んでいます。狂言や今昔物語など、初めて古典の原文を見たと言う人も、現代訳と照らし合わせ、登場人物の気持ちを察しながら読んで、楽しんでます。「平安時代に栄華を築いた藤原氏のウラには陰陽師・安倍清明がいたからで…」とたどりながら読んだのは「大鏡」。「恋する男女の気持ちって、昔も今もあまり変わらないね」とは「伊勢物語」のときの感想でした。

#### ●スポット講座

単発の興味から生まれるスポット講座もあります。「飛行機はなぜとぶの?」や「顕微鏡でいろんなものをみてみたい」などのテーマで、大学や高校の教員の方がボランティアで駆けつけてくださっています。

※ほかにも、「押し花の小物をつくってみたい」「キルトアートに興味がある」との声もちらほら聞かれるので、近々、「手づくりの時間」も開始する予定です。



(上)カメラマンのお話を聞いた  
(左)スポット講座・顕微鏡

### お出かけ企画

ほぼ週1回のペースで企画していて、これまでに出かけたのは、旭屋書店のウラ側、朝日新聞社、ケーキ工房、アイススケート、でんでんタウン、雑貨屋さんめぐり、インスタントラーメン発明記念館、映画、阪神×巨人戦、梅小路機関車館、フリースペース「SAKIWA」との交流、陶芸……などなど。さまざまところに出かけています。

### 料理

また、月に数回は、お昼ご飯をつくっています。メニューは、オープンサンド、おはぎ、ダシにこだわったうどん、そば、スパゲティミートソース、チャーハン、中華定食……いろいろにアレンジして食べる「チキンラーメンの日」というのもありました。また、チョコやクッキーやシュークリーム、団子といったお菓子をつくって、その日のお茶の時間にできたてを食べたりもしています。

### フォロ通信

「フォロ通信つくらへん? ほかに子たちの顔が見えたり、ふだんのフォロのようすが、あまり来ない子にもわかったらいいなあ」という、ある女の子の一言から創刊になりました。さっそくお茶会に出したら、アイデアが出てくる出てくる……ページ数も発行日も、出たところ任せですが、すでに2号まで出ています。さて、第3号は?……それは、つくろうという声が出てきてから考えることになっています。

# フォロの日常は

TVディレクターのお話を聞く



遊戯王「大会」!?



大阪城公園で野球!



## フォロもBB

フォロの日常風景に、パソコンは欠かせません。4台が常時、光ファイバーで接続。ネットゲームやネット占いなどには、パソコンがはじめての子どもも、あっという間にハマっています。人気が高いため、ときにはお茶会で、順番待ちのことやデータの管理について話し合ったりしています。1回の話では納得できないこともあり、常に話し合っていく必要がありますが、使いはじめの時間を記入する表をつくるなど、みんなで工夫しあっています。

## 「大会」好き

「フォロって、なんでもすぐ“大会”になるねんなあ」とは、ある男の子の弁。トランプ、UNO、遊戯王、俳句(川柳?)づくりコンテストなどなど、すぐに「大会」となり、しばらくブームが続きます。「俳句」は、はじめた当初は子どももスタッフもちょっと緊張気味でしたが、今では、お題決めだけ参加する人、人気の句の投票だけする人、見て楽しむ人などそれぞれで、けっこう盛り上がっています。

## スポーツ!?

寒い冬の間、ほぼ毎日やっていた、公園でのキックベース。暖かくなるころには、ブームは去り、かわって室内でのボール遊びが大流行になりました。20坪ほどの部屋で、汗びしょりになってボールゲームをしています。また、ときどき大阪城公園に出かけて行って、野球をしたり、誘い合ってミニサッカーに出かけたりもしています。

## 話いろいろ

「学校に行ってたときって、なんかよくわからないけど、体が重くて仕方がなかった」「フォロってな、自由やけど、いろいろと考えなあかんし、それはそれで、けっこうしんどいって思うときもあるわ」。何気ない日常のなかで、こんな話も、ふと出ます。「大人ってすぐに『言い訳するな』とか『ウソ言うな』って言うけど、大人ってそんなにいつも絶対に正しいのかなあ」「世間でいう常識とはちがうことが、フォロでは通ってるけど、ほんとにこれでいいのかなって正直、俺も思ってるねん」など、気がついたら延々30分とか1時間とか、まわりも一緒に聞き入っての話になったりしています。

## いろんな方に支えられて

現在、フォロには5人のボランティアの方が曜日がわりで来てくださり、子どもたちの日常につきあってくださっています。また、毎週、講座をもつていただいている方、自分がやっている仕事の話をしに来てくださる方、自分のお店へ招いてくださり、売物のお菓子づくりを体験させてくださった方など、本当にいろんなかたちで多くの人に支えられています。使わなくなった本棚や読まなくなったコミックや本なども、ときどき届きます。それらの新着(?)コミックを片っ端から読破することを楽しみにして、フォロに通ってきている子どももいます。

## 親の方からの声

### ●親も子も、いろいろな出会いが楽しみ

稲村 幸子

息子・悠は15歳。この春、中学を卒業しました。知的・身体的にハンディがあります。近くの保育所・小中学校に通い、友だちといっしょに笑ったり怒ったり、いろいろな関わりのおかげで大きくなってきました。

中学の卒業後も、今まで同様に友だちのいる高校生活を望みました。悠の興味とはかけ離れた授業や、いろいろな学校のあり方に疑問はありましたが、障害のある子もない子ども、ともに友だちとして高校生活を送りたいと思いました。しかし、高校は試験で合格しないと入学ができません。受験もし、いくつもの学校にあたって、そしてフォロに出会いました。したいことをしたい人とやれる場、いるだけでホッとできる場、悠も含めてここに来る子どもたちがここをつくっていける場——それが、とてもうれしくなりました。

週2回通うようになって2カ月。スタッフルームのソファをまず居場所にし、ここから自分のやりたいことを見つけ、自分で関わりたいように関わりはじめています。悠にはいろいろなサポートが必要ですが、フォロに関わるボランティアの方が増えて悠のサポーターとしての関わりもできるとうれしいです。

フォロとの出会いを通して、悠も私たちも、いろいろな人との関わりが広がっていくことを楽しみにしています。

### ●自分のペースでつながって

池本 智子

いま、わが家では中学校3年生の次男がフォロの準会員としてお世話になっています。1年生の夏休みのあと、登校できなくなり、現在に至っています。その約1年ほど前に2学年上の長男が、拒食症から過食嘔吐になり命にかかわるところまでいったことがあり、そういう状況のなかで、次男は精いっぱいガマンをしていたのではないかと思っています。長男の一件以来、母親として、心療内科・カウンセリング等できるかぎりのことをしてきたつもりでした。次男も心療内科に通院していますが、不登校の場合には、拒食・過食のように目に見える症状としては非常にわかりにくく、家族の理解もままならないところがあり、本人はもちろん私にも大変に辛い部分があります。

フォロには、だいたい月に3回ぐらいのペースで行っていますが、最初のうちは、ほかの子どもたちとペースを合わせるのがつらいようでしたが、そういうことに気を使わないでいいのだ、ということに気づいてからは、自分の歩幅でゆっくりと前進しつつあるようです。

私自身も、保護者のみなさんやスタッフの方々とお話をするたびに勇気づけられ、パワーをいただいた気持ちになります。定期的にフォロのみなさんにお会いしたり、カウンセリングに行ったりすることで、子どもの自立への後押しをしていける母親になりたいと願う日々です。これからも、よろしくお祈りします。

## information

### ●フォロのことが報道されました

3月

#### NHK教育TV フォーユー

大平光代さんを取り上げた番組のなかで、大平さんがフォロにかかわってくださっているようすが取り上げられました。

#### 『月刊ボランティア』

大阪ボランティア協会発行の雑誌に、大きく取り上げられました。

4月

#### 子ども情報誌『はらっぱ』

グラビア記事として、取り上げてもらいました。

5月

#### テレビ大阪・特番「普通って何やる？」

フォロの創立からのようすがドキュメンタリーで45分間放送されました。

※そのほか、「大阪日日新聞」などからも取材を受けています。

### ●1周年祭をします!

来る9月15日(日)、フォロ設立1周年祭を開きます。ふだんは子どもたちの場ですが、この日はみなさんに駆けつけていただき、1周年を迎えたことを一緒に楽しみたいと思います。詳細は追ってお知らせしますが、日程を空けておいてくださいね!

### ●譲ってください

テレビ、扇風機、マンガetc...

### ●配ってください

できるだけ多くの方にフォロを知っていただけるよう、リーフレット、チラシなどの配布をお願いします。ご一報いただければ、必要部数を送らせていただきます。

## Foro News Letter 第2号

発行日 2002年6月29日

発行者 特定非営利活動法人 フォロ

〒540-0025 大阪市中央区徳井町1-1-3

TEL06-6946-1507 FAX06-6946-1577

mail to: info@foro.jp

URL <http://www.foro.jp>